



管理パックの構成

この章の内容は、次のとおりです。

- [Cisco UCS Manager アダプタ インスタンスの作成および編集, 1 ページ](#)
- [Cisco UCS Manager アダプタ インスタンスの削除, 4 ページ](#)

Cisco UCS Manager アダプタ インスタンスの作成および編集

既存または最近設定された Cisco UCS Manager アダプタ インスタンスを編集するには、インスタンスを選択し、[編集 (Edit)] アイコンをクリックします。

はじめる前に

- ESXi ホストとサーバとの間の関係を確立するための vCenter アダプタ インスタンスを作成
- 読み取り専用以上のアクセス権を持つ Cisco UCS Manager ユーザ アカウントが必要

ステップ 1 [Operations Manager] Web UI にアクセスします。

ステップ 2 [管理 (Administration)] > [ソリューション (Solutions)] の順に移動します。

ステップ 3 Cisco UCS ソリューションを選択し、[設定 (Configure)] アイコンをクリックします。
[ソリューションの管理 - Cisco UCS (Manage Solution - Cisco UCS)] ページが表示されます。

ステップ 4 新しいアダプタ インスタンスを作成するには、[追加 (Add)] アイコンをクリックします。

ステップ 5 [インスタンス設定 (Instance Settings)] 領域で、次を入力します。

名前	説明
表示名 (Display Name)	UCS Manager アダプタ インスタンスの名前。

名前	説明
説明 (Description)	UCS Manager アダプタ インスタンスの記述名。

ステップ 6 [基本設定 (Basic Settings)] 領域で、次を入力します。

名前	説明
UCS ドメイン IP/ホスト名 (UCS Domain IP/Host Name)	指定した UCS ドメインのホスト名または IP アドレス。
[認証情報 (Credential)] ドロップダウンリスト	<p>使用できる UCS Manager の認証情報の種類の一覧が表示されます。</p> <p>UCSM の認証情報の種類を追加するには [追加 (Add)] アイコン、既存の UCS Manager の認証情報の種類を編集するには [編集 (Edit)] アイコンをクリックします。</p>

ステップ 7 UCS Manager の新たな資格情報を追加するには、[認証情報 (Credential)] ドロップダウンリストの横にある [追加 (Add)] アイコンをクリックします。

- a) [認証情報の種類 (Credential Kind)] ドロップダウンリストから [UCS クレデンシャル (UCS Credentials)] を選択し、次を入力します。

名前	説明
クレデンシャル名 (Credential Name)	認証情報の種類の名前。
UCS ユーザ名 (UCS Username)	UCS Manager のユーザ名。 (注) LDAP 認証については、ユーザ名を <i>ucs-<domain>/username</i> の形式で入力します。
UCS パスワード (UCS Password)	UCS Manager のパスワード。
Realize ユーザ名 (vRealize Username)	vRealize の管理者権限を持つユーザ名。
vRealize パスワード (vRealize Password)	vRealize のパスワード。

- b) [プロキシでの UCS クレデンシャル (UCS Credentials with Proxy)] を選択すると、次の追加のフィールドが設定されます。

名前	説明
プロキシ サーバ IP (Proxy Server IP)	プロキシ サーバの IP アドレスまたはホスト名。
プロキシ サーバのポート (Proxy Server Port)	プロキシ サーバ用に使用するポート番号。
プロキシ サーバのユーザ名 (Proxy Server Username)	認証が有効な場合は、プロキシ サーバのユーザ名。
プロキシ サーバのパスワード (Proxy Server Password)	認証が有効な場合は、プロキシ サーバのパスワード。

ステップ 8 [OK] をクリックして認証情報を保存します。

ステップ 9 (任意) [詳細設定 (Advanced Settings)] 領域で、次を入力します。

名前	説明
[コレクタ/グループ (Collectors/Groups)] ドロップダウンリスト	使用可能なコレクタまたはコレクタのグループが表示されます。
[セキュアな接続 (Secure Connection)] ドロップダウンリスト	セキュアな接続を有効にします。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [はい (True)] • [いいえ (False)]
ポート (Port)	接続先のポート番号。
新しいリソースの自動探索 (Auto Discover New Resource)	新しいリソースを探索し、自動的にメトリックを収集するかどうかを指定します。 デフォルトでは、このオプションは [はい (True)] に設定されています。

ステップ 10 [テスト接続 (Test Connection)] をクリックすると、UCS Manager への接続を確認します。

ステップ 11 2.0(3) 以降のバージョンを使用する場合は、資格情報を確認して同意するよう求められます。[OK] をクリックします。

ステップ 12 [設定の保存 (Save Settings)] をクリックします。

インスタンス化されたアダプタのコレクションの状態とモニタされているリソースは、[環境の概要 (Environment Overview)] ページに表示されます。オブジェクトおよびコレクションの状態を

表示するには、[管理 (Administration)] > [インベントリ エクスプローラ (Inventory Explorer)] の順に移動します。

Cisco UCS Manager アダプタ インスタンスの削除

- ステップ 1 [Operations Manager] Web UI にアクセスします。
 - ステップ 2 [管理 (Administration)] > [ソリューション (Solutions)] の順に移動します。
 - ステップ 3 [ソリューション (Solutions)] ページで、[Cisco UCS] を選択します。
 - ステップ 4 Cisco UCS ソリューションを選択し、[設定 (Configure)] アイコンをクリックします。
 - ステップ 5 削除するアダプタ インスタンスを選択し、[削除 (Delete)] アイコンをクリックします。
-